



日本共産党 京都市議員
ひぐち英明
議会報告

みなさんのご意見・ご要望をお寄せください！

こんにちは ひぐち英明です

第310号 2017年3月1日 連絡先：日本共産党左京地区委員会 TEL761-6341
：左京生活相談所 TEL781-6622

HP:

今年も守った！！

～敬老乗車証の改悪に待ったをかける～

京都市の予算議会が2月22日から始まっています。来年度(2017年度)予算で一番の成果は、敬老乗車証の改悪を今年もストップさせたことです。つまり、今年の10月更新の時も、現在と同じ敬老乗車証との交換になります。これは、「改悪は許せない」と、粘り強く続けられている運動(改悪反対の署名は約3万筆!)の成果です。しかし、京都市は改悪方針そのものは撤回してはいません。



■ ポイントは

運賃無料

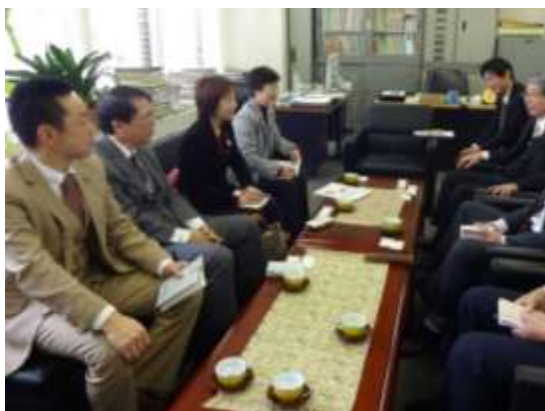
現在の制度は

「運賃を支払うことなく公共交通機関の一部を利用することができる」ことにより、「高齢者の社会参加の促進」「高齢者の福祉の増進に寄与する」(敬老乗車証条例)というものです。運賃が無料という点が重要なポイントです。改悪案は、単なる割引制度に変えてしまおうとするものであり、制度の趣旨を根本から変えてしまうものにほかなりません。

今の敬老乗車証について、「本当にありがたい制度」「外出の機会が増えています」といった声がたくさん寄せられています。市民の声に応えるためにも、改悪方針を撤回させるまで、全力でがんばります。

敬老乗車証を守ろう連絡会が市役所前集会和デモをした後、第9次の署名提出行動

中小企業団体と懇談



様々なご意見をお聞きしました

共産党市議団は、2月2日は京都中小企業団体中央会と、2月10日には京都中小企業家同友会と相次いで懇談しました。

「中小企業の発展なくして地域経済の発展なし」と言った

篠山市の原発事故対策を視察

住民に安定ヨウ素剤を配布

2月3日、共産党市議団として、兵庫県篠山市に行政視察に行ってきました。

篠山市は、原発事故対策の一環として、全住民分の安定ヨウ素剤の備蓄と、希望する



市の職員さんから詳しく聞き取り

住民への事前配布を行っています。これは、福井県の原発が事故を起こした場合、45～70kmに位置する篠山市も深刻な被爆被害が起こりうるという兵庫県のシミュレーション結果を受けて取り組んでいるものです。

市の職員さんの説明では、原発事故の際の基本は「とっとと逃げる」(早期避難)こと。その際にも被爆のおそれがあるのですが、唯一放射性ヨウ素素による被爆だけは、事前の安定ヨウ素剤の服用により被害を予防できるということで、住民への事前配布を決めたとのことでした。

事前配布をする前には、自治会やPTAへの説明会を徹底的に行い、さらに、実際に配布する際には、安定ヨウ素剤の基礎知識や取扱い方法について、医師による講習会を受講することが義務付けられています。繰り返しの学習・啓発を行うこと自体が、原発事故に対する備えになっていると感じました。

写真トピックス



京都2区共産党後援会のつどいで決意を語るちさか拓晃予定候補 →

←上高野体育振興会40周年祝賀会



○ ひぐち英明 ホット・コム ミニ版 ○

阪神タイガースがオープン戦の初日に大勝。この結果を受けて長男(高校1年)は、「これで今シーズンはダメだなあ」とコメント。勝っている時でも「次は負けるに決まっている」とつぶやくのが、だめトラ応援団の特徴です。長男は阪神ファンの王道を歩んでいます。